

## 主要農作物の生育・出荷情報

平成30年7月31日現在  
南会津農林事務所農業振興普及部

作物名	生育・出荷状況
作物	<p><b>【水稻】</b> ○出穂始期は7/31となり、平年より2日早い。 ○目立った病害虫発生は見られない。なお、無人航空機によるいもち病防除が7月上旬から行われており、斑点米カメムシ類防除は8月上旬から行われる予定。 ○難防除雑草(オモダカ、クログワイ等)や広葉雑草、ノビエ等の残草が散見されている。</p> <p><b>【そば】</b> ○夏そばは、7月下旬に刈取作業が行われた。 ○秋そばは、7月中旬頃から播種作業が進められており、出芽は良好である。</p> <p><b>【大豆】</b> ○生育は良好で、中耕培土の作業は終了している。 ○イネ科雑草が繁茂しているほ場が一部にあり、茎葉処理剤が散布された。</p>
野菜	<p><b>【トマト】</b> ○7/10から選果場が稼働し、出荷が開始された。高温により、一部花落ちがみられ、裂果や軟果の発生が多い。 ○病害は、かいよう病、青枯れ病の発生が多い。害虫はコナジラミ類、アザミウマ類の発生が多い。</p> <p><b>【アスパラガス】</b> ○露地栽培では7月上旬頃から夏芽の出荷を迎えた。かん水を実施しているほ場では順調に萌芽しているが、高温乾燥により穂先の開きが目立っている。 ○アザミウマ類、ハダニ類の発生が多い。一部ほ場ではヨトウムシ類の発生が見られる。茎枯病は一部ほ場で発生が見られるが、少雨により拡大していない。</p>
花き	<p><b>【リンドウ】</b> ○ながの2号（早生品種）開花始期 7月25日。平年並みの開花状況であるが高温、干ばつの影響で開花がやや緩慢な状況。 ○害虫については、一部圃場で、ダニ類の発生が多かったが、定期的な防除により現在は、ダニ類の発生は見られない。 出荷量については、7/31現在 335cs</p> <p><b>【カスミソウ】</b> ○新植株は随時定植され順調に管理が行われているものの、積極的にかん水できないところは草丈がやや短い。生育はやや早まっている。 ○害虫は、ハダニ類やハモグリバエの発生がやや多い。</p>

果 樹	<p><b>【リンゴ】</b></p> <p>○果実肥大状況は、暦日比較で平年より大きく推移している。満開後日数による比較では平年並み。</p> <p>○作業の進捗状況は、多くの生産者が仕上げ摘果を終えており、大幅な遅れは見られない。</p> <p>○降水量が少なく推移しており、一部園地ではリンゴハダニの発生が多い。</p>
畜 産	<p><b>【飼料作物】</b></p> <p>○管内牧草の2番草の収穫は、7月下旬にほぼ終了した。</p>